

# 2022 年夏季カルガリー大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

英語以外の他言語使用禁止の空間でグループワークが主となる授業だった。

ディスカッションや自分の考えを述べる機会が多かった。最終週はプレゼンもおおく、1週間に3つもった。授業内の発言は基本自由で疑問点があればすぐに先生に聞くと授業を止めてきちんと説明してくれる。自分から学びに行く姿勢が求められることが多かった。

ペアワーク、グループワークを中心であった。午前の授業は3時間、午後の授業は2時間半あったので、どちらも半分くらいでブレイクタイムを挟んでいた。前半で文法や発音、後半でグループワークやプレゼンテーションの準備等、ほとんどの授業が前半、後半で取り組むテーマが設けられていた。

事前テストでレベル別に分けられて、私のクラスは15人でした。テキストやプリントを使って授業をしていました。プレゼンが2、3回あったのでペアワークやグループワークが多かったです。

授業は三科目あり、ESLと英語の本を読む授業と発音の授業がありました。発音の授業はひたすら発音して発音のゲームをしたりしました。英語の本を読む授業は決められた範囲のページを事前に読んできてその内容についてグループに分かれてディスカッションして、最後にはプレゼンもしました。ESLはグループ活動やイディオム、文法など幅広いことをしました。これもプレゼンする機会がありました。

授業が始まると、最初にウォーミングアップでゲームや課題の共有をした。教科書や資料、ウェブサイト中心の対面授業。

グループワークやペアワークが多く、会話する機会がたくさんあった。

授業は午前が文法中心の授業だった。グループでイベントについてのプレゼンがあった。私は日本のクリスマスについてプレゼンした。また、frisbeeを使ってゲームをしたり、クイズをすることが多かった。チーム戦で勝つとインストラクターからお菓子をもらった。午後は、文学の授業で宿題で何ページかを読み、要約、自分の意見、そし物語の予測を書く授業だった。また、グループワークで役割を決め物語について話し合うことが多かった。雑賀の授業では、ディベートをした。毎週水曜日だけ発音の授業があり、リスニングして発音を学んだり、洋楽を聞いていたりしていた。

授業形態は3授業のうち2授業がグループワークでした。

ペアワークやグループワーク中心でした。プレゼンやポスター作成、対話の劇、ディスカッションなどをしました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

僕のクラスは16人で、カンボジア、エクアドル、コロンビア、台湾、香港、カナダ、アフガニスタンの多国籍だった。日本人は7人いた。

クラス人数16人日本人10人(外大生6人)、ケベック州2人、アフガニスタン2人、フランス2人

クラス15人、日本人10人、スペイン、メキシコ、ウクライナ、韓国、ケベックから来た生徒と一緒にいた。年齢は16~30代とバラバラです。

クラスは15人ほどの少人数クラスでわたしのクラスは日本人が多く、日本人が10人、メキシコ系の留学生が2人、ウクライナからの留学生が1人、韓国からの留学生が1人、アフリカ系の留学生が1人いました。

15人くらいで、日本人が10人くらいいた。スペイン、メキシコ、韓国、ウクライナなどの留学生がいた。

日本人10人、留学生6人 合計16人。フランス、ケベック、モントリオール、アフガニスタン

クラスは、20人程度だった。ケベック2人、フランス2人、アフガニスタン2人。たまたま外大の人が多くクラスだった。

人数は14人でした。日本人9人、フランス語圏3人、スペイン語圏1人、ペルシャ語圏2人

私のクラスは15人で、日本人10人、留学生5人でした。韓国、スペイン、アフリカ、ウクライナ、メキシコ出身の方だったと思います。

#### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

とても明るいクラスで活発なクラスだった。レベルの高いクラスだったので課題などもそれなりに大変だったがグループワークも多かった。みんなで相談して取り組んだりした。休みの日には遊びに行ったりすることも多かった。日本と違う点はわからないことはその時に手を挙げて聞くところやしっかりと自分の意見を求められるところだと思う。

日本では先生が喋り生徒が聞くというような受身の授業が多いが、そうではなく、参加型の授業であった。先生に質問があれば、先生が話していても質問する場面も多々あった。また、参加型である為、外に出たりお菓子を食べたり、眠たくなったら外で寝るなど、自分の意志で行動することもできた。

日本人が多かったのでどうしても日本人同士のペアやグループが多かった。プレゼンが多かった。文法内容は簡単だった。

クラスの雰囲気は発言しやすいリラックスできる環境で、わからない単語やわからないことがあるとその場で質問できる環境でした。日本では先生が説明しているときはみんな静かに聞くだけで質問することもないので初めはびっくりしました。

グループワークやペアワークが多く、課題も毎回出た。授業内では、発言することが多かった。

楽しく授業をして、いつでも質問できる雰囲気があった。一日に2コマ授業で、1コマ3時間。途中で15分休憩がある。

全員、親切でとても快適に過ごすことができた。英語で話すことに慣れていないため、質問されてうまく返せないことがあったが、分かりやすく言い換えてくれたり、真剣に聞いてくれたりする人が多かった。

前回の授業の振り返りを必ずしていました。クイズやゲームで復習をしていたので楽しんで記憶に定着させることができました。

少人数のため、発言しやすい雰囲気でした。みんなそれぞれ意見を言ったり、すぐ質問したりするなどしていました。スマホも使用可能で調べたりもできました。午前3時間、午後2時間30分の1日2コマで、休憩が10~15分ほどありました。

#### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

プラスチック製品の減らし方というトピックでポスターをつくりプレゼンテーションをしたこと

mysteryについてペアで1肯定派と否定派に別れて5分プレゼンすることがあった。僕たちはESP（超能力）についてプレゼンしたが、日本語でもすることがないトピックだったので大変だった。スクリプトも見ながらプレゼンも基本NGだったので準備に時間がかかった。

日本の文化であるお花見について、思った以上に知らなかったことに驚いた。

授業で扱った小説についてのプレゼン

大学のある街の素敵な場所をグループの人と共有したことです。自分で探してもなかなか見つからないので春からこの大学に来ている人たちにたくさんいい場所を教えてもらえてよかったです。

発音の小さな違いや今まで間違っていた発音について

文学の授業で、主人公についてどう思うかについて意見を述べるのが印象深かった。

日本について。日本についてとても知っている先生の授業を受けていて驚きました。

ペアごとに割り当てられたシチュエーションで、対話を考えて、劇のようなものをしたことです。英語でのリアクションなどのイントネーションや表情、身振り手振りなども練習して、発表の時は緊張したけど、楽しく出来ました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

毎日課題をこなした。なるべくその日中に終わらして、自分に余裕を持たしていた。また、プレゼンなどは準備をしっかりすることを心掛けていた。

わからない単語があれば自分で調べるのではなく、なるべくスペルを聞いたり、意味を質問したりするようにしていた。その中で、すでに知っていた簡単な単語であったこともあった。

ずっと英語を話すように努力していた。

毎日課題が出るのでとりあえず課題を終わらせるだけで精一杯でした。あと、ディスカッションで発言するよう心がけていました。

英語で積極的に話すこと。

わからないことがあればすぐに質問するようにしていた。

インストラクターの指示を一回で理解できるようにリスニングに全神経を注いだ。私のクラスは日本人が多かったので、なるべく授業中は日本語を話さないように注意した。

日本よりも学校の終わる時間が早かったので、その日のうちに宿題を終わらせるようにしていました。

座席は決まっていないので、毎回同じ人やグループにならないように座ったりすることを心がけました。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
3人	コロンビア、韓国
1人	スリランカ
0人	-

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
電車	15-30分	ホームステイ先
電車	30-45分	ホームステイ先
電車	75-90分	ホームステイ先
バス	30-45分	ホームステイ先
バス	60-75分	ホームステイ先
バス	75-90分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、机、クローゼット、風呂、トイレ、テレビ、ソファがあった	洗顔フォーム、化粧水
バスタオル、勉強ができるスペース、寝具、収納棚、クローゼットなど生活に必要なものはすべてあった。	シャンプーなど個人的に使うもの
キッチン(火なし)、冷蔵庫、ダイニングテーブル、椅子、テレビ、寝室、クローゼット、シャワー、トイレ、洗面台、勉強机、シャンプー、タオル、ティッシュ、洗剤	シャンプー、リンス
机、椅子、小さい鏡、ベッド、ハンガー、服が置けるスペース、洗濯物入れるカゴ、小さいライト、小さいテーブル	衣類、タオル類、洗面用具、化粧品、筆箱
ベッド、机、クローゼット、ハンガー	衣類全般、タオル、お風呂用具
ベット、勉強机、いす、クローゼット、タンス	ティッシュ、シャンプーリンス、バスタオル
机、椅子、ベット、ハンガー。洗面所にタオル、ケープ、ドライヤー	シャンプー、リンス、ボディソープ、ドライヤー、ヘアアイロン、洗面用具、タオル、ティッシュ
ベッド、枕、ドライヤー、ハンガー、クローゼット、ランプ	洗濯ネット、シャンプー、リンス、ボディソープ、
ベット、ベットサイドテーブル、ランプ、クローゼット、引き出し、ハンガー、靴置き	日用品、洗面用具、ティッシュ、ウェットティッシュ、ランチバック、水筒、メイク道具、鏡、ドライヤー、ヘアアイロン、ゴミ袋など

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
洗濯が週に一度であること。トイレが詰まりやすいこと
洗濯は基本週に1回。だが、ホストに聞いたら好きなタイミングでいいよと言われたので週2回くらい洗濯していた。
洗濯が週に1回であったこと、お茶がないこと、
洗濯は週一、クーラーがない
洗濯が週に一回、シャワーが狭くて洗にくい
洗濯は週に1回で、お風呂はシャワーだけだった。食事は基本、ホストファミリーの出身国の食べ物が出される。ユニットバスだったこと。日本語が通じないので、英語で伝えるのが大変だった。
宗教のお祈りが一日だけ食事の前であって驚いた。
夜ご飯が6時頃と聞いていたが、私のホームステイ先は9時半頃だったためそこから食事、後片付けをすると10時半ごろになっていたため、課題の時間やお風呂のタイミングが難しかった。
水を出すレバーが一つしかなく温水をだすのにすぐにわからなかったです
地下1階のフロアを全部使えたこと。1階のリビングが生活感があまりなく、綺麗な状態で、ホストファミリーが生活してるのが2階だった。リビングは、ご飯を食べる時ぐらいしか人がいなかった。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストファミリーに何かを聞かれてあいまいな返答をすると Yes だと受け取られてしまうためちゃんと YES、NO をはっきりさせること

気になることはきちんとホストに相談する、しっかりと NO という、いっぱいホストと話す

日本のように食事のバランスが整っていないので、最初は栄養が偏り体調不良になりやすい。可能ならば、自分でスーパーで果物、野菜を買うべき。カルガリーは朝とても寒くて乾燥していたので羽織るものを持っていくべきである。

7日分の服が必要、土足では無かった、ドライヤーは持っていくべき

ホストファミリーとコミュニケーションをとる

自分の帰りが遅くなる時、ご飯が要らない時は前もって言う。また、自分の予定が分かっているなら、紙に書きだして渡しておく。積極的にコミュニケーションを取る。

コミュニケーションをとること、なんでもわからないことは聞く。

なるべく自室にこもらないことが大事だと思う。私は、家についたときからホームステイ先のテレビで子供とネットフリックスやティックトックを見ることになり、そこでとても距離を近づくことができた。子供はとても元気な子で家でかくれんぼをしたりゲームをすることが多かったが、笑顔でしてあげることが大事だと思う。

部屋にゴミ箱がなかったためほしいと思いました。

私のホームステイ先では、特にハウスルールがなく、娘さんも年齢が近い方たちだったので、周りの友達よりも少し緩かったかなと思いますが、ハウスルールをちゃんと決められている家の方が友達にも多かったので、よく確認すると思います。

パソコンは 持参しましたか	人数
はい	9人
いいえ	1人

インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
ワイヤレスで可能	いいえ
LAN ケーブルで可能	いいえ

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参
はい	日本から SIM カードを持参

#### 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

友達とダウンタウンで買い物をしたり、大学主催のアクティビティに参加したりした。

大学のアクティビティープログラムはほとんど参加した。

大学主催のプログラムに参加するとクラスが違う人とも交流できるのでお勧めである。

毎週アクティビティに参加していた(バンフやZOO)

大学のアクティビティに参加している人が多かったです。私はバンフに行くプログラムに参加しました。あとは、買い物したり、ダウンタウンに行ったり、フェスティバルに行ったりした。

大学主催のプログラムに参加する。放課後や土日は、友達と出かけた。

Banff overnight trip

バンフのオーバーナイトプログラムに申し込んだ。カルガリー大学に行く人は申し込むべきである。大学から1時間半ぐらいでつくため、充実したプログラムだった。1日目にラフティング(川下り)のようなものをしたが、本当に楽しかった。バンフのダウンタウンもとても景色がきれいだった。

ウォーキングツアー、旅行、

大学主催のプログラムにほとんど参加した。ドラムヘラー、ミニゴルフ、バンフ、美術館、graduation パーティ、動物園などがありました。

#### 学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

学校のカフェテリアに頻繁にいた。

学内のカフェやフードコート、ダウンタウンのレストランやモールなど。

カルガリー大学のマックホール(食堂や大学限定の商品が集まった場所)、ダウンタウンのショッピングモールをよく利用した。

学内ではカフェテリアでお昼ご飯を食べていました。小さいフードコートみたいな感じで色んなご飯がありました。

学内にある飲食店をよく利用していました。店員さんとも仲良くなってSNS交換までできました。

学内の食堂をよく利用した。

スターバックス、カフェテリア、

学内：カフェテリア、学外：スーパー、古着屋さん

ウォールマート、ティムホートン、学内の食堂、フードコート、

### 3. 留学前準備について

#### 留学前に取り組んだ準備

自己紹介の内容を考える

日常生活で役に立ちそうなフレーズを覚えた。耳を少しでも慣らすために英語のドラマ、映画、音楽など意識して聞いていた。

コミュニケーションの取り方、使える構文、留学先に何があるか把握した。

リスニング、単語、フレーズ

大学受験の際にも行っていた、英語のラジオやニュース、音楽などを朝の準備中や、スキマ時間などに聞いていました。話せるような言葉や文章を調べて練習したりもしました。

### 留学前にしておけばよかったと思う準備

いろんな国の英語を聞くこと

ポキャブラリーをもっと身につけておくべきであった。

英語をもう少し勉強していけばよかったと思いました。最初本当に話せなかったし、聞き取れなかったのでやっておけばよかったと思いました。

単語力がなかった。リスニング力の向上。

単語の勉強

もっと、ホームステイ先やお店、授業で使えるような言葉遣いや、文章、リアクションなどの知識量を増やすことと、実際に話せるような練習をしておくべきだったなと思います。

### 日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

扇子、折り紙

扇子や日本のお菓子(特に笛ラムネ)はウケが良かった。

洗濯ネット、爪切り、エコバック、パソコン

ティッシュ、ウェットティッシュ、サンダル、ハンカチは役に立ちました。

スリッパ、洗濯ネット、紙コップ、薬

日本食、下着多め

お土産として持って行った甚平や折り紙、日本製の筆箱や鉛筆

日本のお菓子、キットカットの抹茶はホームステイ先の人に喜んでもらえた。佐藤のご飯。昼ご飯は自分で用意しなければならなかったもので、大学の電子レンジで温めてお昼ご飯に食べていた。ふりかけも持って行った。大学の中に日本のコンビニのようにお弁当が売っていたりしないので、ファストフード店などから購入するが、値段が高いため、節約のために持ってきていて正解だったと思う。周りの友達を作ってくれるホームステイ先もいた。

洗濯ネット、日本のお菓子ごはん

日本のお菓子は、ホストファミリーもクラスメイトも喜んでくれました。カナダは、日本よりも甘いものがたくさんあり、量も多いので、日本のお菓子は、自分用にも持っていくといいと思います。

### 日本から持っていく必要のなかったもの

たくさん服

多額の現金。大体の支払いはクレジットカードで済む。

電子辞書

参考書や単語帳はあまり必要なかった。課題をする時間が多かったことや毎日イベント(参加しなくてもよい)があることで、ほとんど日本から持って行った本を触ることがなくとても重いので、あまり多く本を持って行かないほうがいいと思った。

持っていく必要のなかったものは特にありませんでした。

半袖。エアコンで寮や大学内がかなり寒く、常に裏起毛付きのパーカーを着ていた。8月だったので半袖を多く持っていったが、ほとんど着る機会がなかった。

大量の日本のお菓子、日本からのお土産、参考書、電子辞書

日本から持参すればよかったと思ったもの

洗濯ネット、フリーズドライの味噌汁

ドライヤー、胃腸薬など。

日本のお菓子をプレゼントしたときは非常に喜ばれました。

折り紙をもっていき、鶴の折り方を教えて皆で折った際、すごく喜んでくれました。そして、日本のお菓子をあげたときもすごく喜んでくれました。

折り紙

役立ったものはカップ麺や汁物などの日本食や日本のお菓子である。海外には、日本食レストランなどはあるが、日本のものと違うため日本から持っていくととても心が癒された。喜ばれたものは、アニメのキャラクターが印刷された折り紙である。海外にもたくさんのアニメファンがいたのでそれを渡すととても喜んでくれた。

ビーチサンダル、エコバック、ドライヤーなど

普段から使っている保湿クリーム（乾燥したり、川の水、強い日差しで体の炎症を起こしたので役に立ちました。）、日本のお菓子、サングラス、帽子、シャワー用のサンダル

袋やジップロック、サンダルやスリッパ、小さなピンチハンガーは役に立ちました。また、日本のお菓子やカップ麺などは喜ばれていました。

インスタント食品

お菓子、ドライヤー、日焼け止め、洗顔、ハンガー、上着（少し厚め）、水筒、エコバッグ

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。

クレジットカード、現金

現金 500\$を日本から持参し、現地での支払いはほとんどクレジットカードで行いました。

現金、デビットカードを用意しました。

現金とクレジットカード

ほとんどクレジットしか使わなかった。

クレジットカードを2種類（VISA、JCB）とプリペイドカード（MASTER）、現金を持って行った。

現金とクレジットカード

クレジットカード2枚、現金。

クレジットカードと現金を用意しました。

クレジットカードと現金を準備していたが、現金は全く使わなかった。

クレジットカード2枚と現金を準備した。



現地で支払った住居費と食費を教えてください。

クレジットカード上限不明、現金3万

現金5万円、クレジットカード上限20万円。

現金5万円分、デビットカード10万円分を用意しました。

現金2万円ほどと、クレジットカード上限25万円

15万

クレジットカード上限10万円、プリペイドカード3万円、現金2万円準備した。加えて日本円1万円用意した。

現金5万円程度

クレジットカード2枚（上限20万円と30万円を1枚ずつ）、現金3万円。

クレジットカード5万円、現金2万円

現金2万円とクレジットカード

クレジットカード上限20万、現金8万くらい。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

食費 外食 1回平均13ドルくらい

食費はミールプランがあったので支払っていませんでした。

食費3万円ほどです。

約15万円

寮以外での食費は1万6千円ほどでした。

洗濯と乾燥機で1回4ドル

食事は、主にカフェテリアで食べていたが、外で食べることもあった。だいたい食費は、留学全体を通して1~2万円くらいだったと思う。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代は無料で、通学費は寮に住んでいたのが無料でした。

テキスト不使用、通学費用無し。

テキストは全てパソコンにアップロード、教室は寮内にあった為テキスト代、通学費共に0円です。

テキストはありませんでした。通学は建物内に寮と教室の両方があったため費用はかかりませんでした。

テキストはなく、通学費はかからなかった。

## 5. 学習面について

### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

語学力は忘れていただけの単語を思い出すきっかけになり、コミュニケーション能力はかなり向上したと思う。

持っているポキャブラリーが圧倒的に少ないと実感できたので、語彙力をつける。分からないことや知りたいこと等、疑問点があればすぐに尋ねることができた点は良かった。

語学力・コミュニケーション力共に向上したと思います。

英語の環境のため、リスニング力はつきました。英語を話すことに抵抗はなくなり、話しやすくなりました。コミュニケーション能力は向上しました。

語学力はとても上がったとは言えないが、コミュニケーション能力は向上した。

少しは伸びたと思う。

リスニング力は向上したと思います。間違いを恐れずに話しかける力はついたと思います。

語学力は1ヶ月ではそんなに伸びなかったと思いますが、コミュニケーション力は上がったと思います。初めての海外で、最初は不安だったので、学校外でも色々な人に道を聞いたりして、みんな親切に教えてくれて、すごく助かりました。学校でも年齢がばらばらのクラス編成だったけど、それが気にならないくらい話せるようになったと思います。

### 留学前の目標とその達成度

外国人の友達を作るという目標は今も連絡を取り合う友達がいるため達成した

目標は英会話力を上げることでした。生活する以上英語を話すしかないの、常に英語を聞いたり話すことができてとてもいい経験になりました。

人見知りをなくし、コミュニケーション能力を上げること。

留学まえ：リスニング力・スピーキング力の向上、

色々な国の方と仲良くなること、遠慮せずに話せるようになること、コミュニケーション能力を上げること、などが目標で、ラスト1週間ぐらいでほんとにたくさんの方と打ち解けられて、仲良くなることができ、話せたので、少し達成出来たかなと思います。

### 留学を通しての成長ポイント

状況にあわせた柔軟な考え方と高いコミュニケーション能力が身についた

一度決めたことに対して最後まで意志を持ちやり抜けた点などから、自分で考え行動する主体性が身についたと感じる。

話す力もですが、聞く力も身に付きました。

失敗を恐れなくなった。挑戦しようと思うことが増えた。異文化や慣習を受け入れやすくなった。会話をスムーズにできるようになった。

英語を使って頑張って話す努力が身についたのと、間違ってもいいから、英語で話して、表現することが成長できたポイントだと思う。

コミュニケーション能力が上がった

間違いを恐れて質問や話すことをためらわずに話せるようになったと思います

日本では人の目を気にしてしまうことが多々ありましたが、カナダへ行って、自分から話しかけるということが普通にできるようになったと思います。周りのみんながとても親切で、フレンドリーで面白くて、私もそんなふうになりたいと、どんどん打ち解けることが出来たと、放課後もたくさんの人でご飯に行ったり、お出かけしたりもできて、自分のコミュニケーション能力が上がったかなと思います。

## 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

英語学習へのモチベーションはかなり上がった。

留学前は留学に向けて高いモチベーションがあり、留学中ではもっとコミュニケーションを図りたいという気持ちからモチベーションを高めることができ、留学後には今回の留学で見つかった課題点がいくつかあり、さらにモチベーションを向上することができた。

留学中英語が話せなくて困ることもありました、聞き取れなくて困ることもありました。スピーキング力と共にリスニング力を向上させたいなと思いました。

留学前はバタバタしてできず、留学中は毎日が刺激的でモチベーションが上がりました。終わってからも今回よりもっと円滑に会話したいと思っています。

留学前は、行くのが怖くて、少し怖気づいていたけど、留学中は、日本の他大学から来ている人たちや他の国から来た人たちと英語でコミュニケーションを使って学習することで、自分ももっと頑張らないといけないと思った。留学後は、まだ学びが足りないと思ったので、また留学に行きたいと思っし、本格的に英語で話せるようになりたいと思った。

留学前：モチベーションはあったが不安が大きかった、留学中：不安がなくなってきて少しずつモチベーションも上がった、留学後：モチベーションは高くなっている。

留学前：行けば何とかなる、留学中：もっと準備しておけばよかった、留学後：もっと話せるようにもっと勉強しようと思った

留学前は、人見知りなところが少しあるので不安でしたが、期末テストが終わってから出発までの3日間で少しでも英語に触れようと、期末テスト後も勉強を進めました。留学中は、日本人以外の人もコミュニケーションも取ろうと努力しましたが、思うように伝えられないことも多く、苦戦したけど、助けてもらうことで、色んな伝え方でコミュニケーションを取れました。留学後は、今回3週間という短い期間だったため、カナダでの生活や、コミュニケーションに慣れてきた頃に帰国となってしまったので、もう一度留学をしたいという思いが強まりました。スピーキング力をもっと上達できるように頑張りたいと思っています。

## 留学中 100%力を振り絞った瞬間

一人で買い物に行ったとき

プレゼン発表

授業内のグループに分かれて取り組んだ劇をやる時に、怒る感情を少し早口の英語で表現した瞬間

プレゼン発表した時です。

プレゼンの会話を考えたときとフリートークみたいなとき

ホストファミリーとは英語で頑張って会話しないとコミュニケーションが取れないので、頑張って自分が学んできた英語を使ったこと。

留学生に話しかけるとき

クラスメイトと話すとき、授業中発表するとき

1つの授業で、1冊の本を読み進めながら、その物語について、ディスカッションをしたりする授業があり、それが私の中で1番大変な授業であり、課題も多かったので、頑張ったと思います。ディスカッションでは、4.5人のグループに分かれて、役割分担をして、1人ずつ話していくという感じでした。まず本の内容を理解するのに苦労して、それをディスカッションの中で伝えるのが難しく、大変でしたが、やりがいのある授業でした。

#### 留学先大学の良かった点

街がとても自然豊かで落ち着いて学習に取り組めた。オフィスに日本人スタッフがいたのでオフィスを利用する機会はなかったが、安心感があった。学習設備がとても充実していた。

多国籍、イベントが多い

授業の雰囲気良かった。治安良かった。施設が多く、とても広かった。先生もみんな親しみやすい人で良かった。

校舎が広くて綺麗、カフェテリアの種類が豊富

大学の敷地がとても広くて、1つ1つの建物が大きく、つながっていたこと。食堂に多くの店があり、大学のシンボルが入った洋服やトートバッグが売っている店があったこと。アクティビティがたくさんあったこと。

先生が優しくかった。あまり話せなかったが親身に聞いてくれる。一緒にゲームをして楽しい授業作りしてくれた。